

会 議 名	第3回港区防災学校プログラム企画・運営支援業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成31年2月7日（木） 15時00分から16時15分まで
開 催 場 所	芝公園区民協働スペース
委 員	出席者 5名 防災危機管理室長 長谷川 浩義（委員長） 防災課長 白井 隆司（副委員長） 危機管理・生活安全担当課長 滑川 寛之（委員） 高輪地区総合支所協働推進課長 鈴木 雅紀（委員） 芝浦港南地区総合支所協働推進課長 大浦 昇（委員）
事 務 局	防災課地域防災支援係
会 議 次 第	1 開会 2 二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施（A事業者 30分間） 4 二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配 付 資 料	【席上配付】 次第 資料1 二次審査実施概要 資料2 事業候補者採点基準表（二次審査） 資料3 一次審査・二次審査集計結果（※採点終了後、机上配布） 資料4 第2回選考委員会議事録（案） 参考資料1 一次審査集計結果

会議の結果及び主要な発言

事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>席上配付資料の説明</p>
事務局	<p><b>2 二次審査実施概要について</b></p> <p>(事務局が、資料1、2に基づき説明する。)</p>
A委員	<p>ご質問等ございますか。</p> <p>(意見等なし)</p>
A委員	<p>それではこれよりA事業者によるプレゼンテーション及びヒアリングに入ります。</p>
A事業者	<p><b>3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施</b></p> <p>A事業者プレゼンテーション (15分) ～詳細省略～ A事業者ヒアリング (15分)</p>
C委員	<p>ある程度興味のある人が参加すると考えられますが、防災基礎講座及び防災講演会について、気づきのあった受講者の割合が8割という目標は弱気と感じます。特に基礎講座について、具体的に取組みたいとする受講者が2割というのは低いのではないのでしょうか。目標設定の根拠についてお聞かせ願いたいです。</p>
A事業者	<p>本来であれば10割を目指すところですが、これまで実施してきた類似講座の結果を見ると、5～6割の実績であったため、8割としました。</p>
C委員	<p>これまでの実績を踏まえて、さらに上を目指したいということでしょうか。</p>
A事業者	<p>そうです。</p>
C委員	<p>一方、防災関連施設見学ツアーについては、目標数値の記載はなく、目標が抽象的です。防災関連施設見学ツアーについては、アンケートは実施しないのでしょうか。実施した結果から目標を定めることはないのでしょうか。</p>
A事業者	<p>まずは親子で防災について考える時間を設けたいという意図があります。アン</p>

	<p>ケートによりさらに目標を設定するとすれば、ツアーの中で学んだ、ローリングストックなどの具体的な取組に繋げることで考えています。</p> <p>防災士有資格者向け研修会についても、まず何ができるのか防災士の方に知ってもらいたいという思いから、数値による目標としていません。具体的な活動に取組みたいと考えるということを目標として設定しました。</p>
C委員	<p>独自事業について、継続的に交流会を行うというのは、講座を1回実施し、それとは別に何回か講演会を実施するというのでしょうか。</p>
A事業者	<p>講演をきっかけに知っていただき、その後は参加者が自主的に集まって取り組んでみようと思ってもらえるようになればいいと考えています。その際はなんらかのサポートをさせてもらえればと思っています。</p>
E委員	<p>防災講演会について、気象をテーマにするというのはイメージできかねます。具体的にどういった内容なのでしょう。</p>
A事業者	<p>例えば、携帯に集中豪雨の警戒情報が入ってきますが、50mmの豪雨というのはどれくらいのものなのか、気象を具体的にイメージしてもらいたいと考えています。また、50mmの雨が続きとどのようなことが起きるのか、事前に察知するために目安にするものは何か、ということについて、気象予報士による具体的な例も交えて紹介していければと考えています。</p>
E委員	<p>防災講演会については、地域で防災活動に関わるためもきっかけづくりがねらいとありますが、内容がねらいに繋がりにくいという印象を受けました。</p> <p>独自事業について、話し合いや交流会を継続的に行うとありますが、頻度や回数はどうのように考えていますか。</p>
A事業者	<p>その時にどれくらいの方が集まるかにもよりますが、10名くらいの方が集まる場合、数か月に1回程度でもいいのではないかと考えています。例えば場所を準備するとか、もしくはこんな話を聞いてみたいというときに、気軽に協力していただけるゲストの方を紹介することができると思います。モチベーションを維持する又は深く学んでみたいという意欲を引き出せるようなことができると良いのではないかと考えております。</p>
E委員	<p>3つ提案がありましたが、最大2つを実施するというイメージですか。</p>
A事業者	<p>そうです。できればそういう形をとりたいと思います。</p>
E委員	<p>大使館職員も複数回参加してもらいたいイメージでしょうか。</p>
A事業者	<p>仕事の関係もあるので、対象によって頻度は少し変わってくるのかなと思っています。</p>

E委員	<p>受講者同士の繋がりを作るという点は、どういった仕掛けを考えているのでしょうか。</p>
A事業者	<p>継続的に、という点でしょうか。</p>
E委員	<p>例えばパパ・ママ同士の繋がりを作るという点について、講演会の中でどんなことをするのでしょうか。</p>
A事業者	<p>港区に限らずだと思いますが、子育ての情報は入ってくるけれども、地域で接点を持つことや、地域の情報についてはなかなかわかりづらいところがあります。子育てに追われる中で、情報を持ち寄ることで、もうちょっと地域のことを知ってもらおうという点が側面的にはあります。</p> <p>防災についても、災害時に連絡先を確認する際、家族の連絡先のみ把握をしているかもしれませんが、講師候補のAさんのお話の中では、お母さん・お父さん同士の話の中で、連絡を取り合ってフォローし合うのもいいのではないかという話もあります。自分たちだけ、家族だけというところから視野を広げていただけるような話題提供ができればと考えています。</p>
D委員	<p>防災士養成講座事前学習会について、港区で防災士を増やしているところですが、防災士に合格したあとどう活動するのが重要だと思います。平常時の取組について書いてありますが、具体的にどんなことをやってもらうのか、又はどんなことを紹介するのか、考えていることがあれば教えてください。</p>
A事業者	<p>防災士の資格を持つことによって、基本的な知識を身に付けたということになりますので、防災訓練や地域などの身近な集まりの機会、堅苦しくなく、身近な話題として紹介できるということがあると思います。</p> <p>もう一つ、区の防災訓練に参加したときにも、地域の方と違う取組をしてはどうでしょうか。従来の消火器訓練や避難所運営に関しての訓練等あるかもしれませんが、少しアレンジするようなものもあるといいのではと。防災士の方が加わることで、今までやってきたことにプラスになるようなことがしてもらえるといいのではと思っています。そのための情報提供を、この講座の中で講師の方から実例を交えながら紹介していただきたいと考えております。訓練プラスアルファというイメージです。</p>
D委員	<p>区の他業務との連携のアイデアについて、なにかあれば教えてください。</p>
A事業者	<p>これまで色々な業務に関わる中で、支所独自の取組が動き出していることを認識しております。地域で熱心にやられている方も見えてきているところですので、支所単位で情報提供していくものと、区として情報提供していくものの整理をしながらやっていく必要があるのではないかと思うところが一つと、もしくは今回の防災学校の業務を通じて、ストックできる情報を支所に提供していくとか、必要があれば紹介することができるのではないかと思っています。</p> <p>もう一つは、支所で取り組みたいことがあるときに、いろいろな講師の方との</p>

	<p>ネットワークがあるので、講師の方を紹介できるのではないかと思います。今日紹介した方以外にも、被災地での実績がある方や専門知識をお持ちの方もいらっしゃるので、そういった講師の方を紹介できるのではないかと思います。</p>
B委員	<p>提案全体に具体的な講師名を挙げていただいています。講演に講師を呼んだ実績等を踏まえ、実現可能性というのはどの程度なのでしょう。</p>
A事業者	<p>マンション防災のBさんについては、港区の講演以外でも、被災地支援や弊社の取組でも他業務に紹介させていただいたこともあり、お付き合いがあります。NPO法人や公益財団法人の肩書の方もいらっしゃいますけれども、比較的地域で話題提供するような、住民の方向けの講演会をするときに一緒にやり取りをすることがあり、そういった意味で接点があります。もう少し言うと、被災地での活動、民間のボランティア活動が注目される中で、関係者で勉強会をする際や、ワークショップの企画運営をする際に、講師の方と一緒に企画運営をする機会もありますので、色々な形で、情報交換をしています。企画に合わせて話題提供をいただくほか、個別のワークを検討するような調整も可能であると考えています。</p>
B委員	<p>来年度の業務で確定したものはないということでしたが、状況は変わっているのか、又は進行中のものがあるのか、教えていただきたいです。</p>
A事業者	<p>現段階で具体的に増えたものはないが、おそらく何件か業務がでてくる想定はしています。ただ、その時は業務担当者を中心にきちんと連絡調整できるようにしたいと思いますし、他のスタッフも適宜フォローする形でやらせていただければと思います。</p>
A委員	<p>今日お越しいただいているお二方は、業務責任者と区との連絡窓口を担っていただく方ということよろしいですか。</p>
A事業者	<p>はい、業務責任者と区との連絡窓口となります。</p>
A委員	<p>他の業務を受け持つ可能性があるということですが、お二方が持たれる業務に対して、この業務を何%くらいのウエイトでしたいと考えているのかをお聞かせ願いたいです。</p>
A事業者	<p>業務責任者は、全体の業務管理ということになりますので、たくさんのウエイトを占めることというはできないですが、1割から2割で対応させていただきたいと考えております。</p> <p>区との連絡窓口は、窓口として動くのでウエイトは重くなると考えております。他の業務を持つ可能性もあるので、5割以上はウエイトとして置いていきたいと考えております。</p>
A委員	<p>今年度委託をお願いしているので、業務をすでに実際にしていただいていると</p>

A事業者	<p>いう強みはあると思いますが、それ以外で、もしこの業務を請け負うことになったとき、過去の実績以外の、強みとウリはどんなところだと考えるかをお聞かせ願いたいです。</p> <p>弊社はここ数年、自主防災組織とのやり取りが増えてきております。プレゼンテーションの中でもお話ししたとおり、自主防災組織を担う方の高齢化や、若い人が参加してくれないという点で苦勞されています。その中で、講演会やワークショップを通じて、もう少し関心のある方に参加していただく機会を作ったり、一緒に考えて仲間を増やすとか。役員の方を中心に動くのではなく、いろんな方が知恵を絞りながら動かしていくことを応援させていただいている経験があります。そういった経験を活かして、参加される方が自分1人でやるのではなく、いろんな人と相談しながら力を合わせてやっていくということが、今回の業務でも活かしていけるのではないかと考えております。単に知識を得るだけでなく、実践していく中でいろんな工夫や知恵を出し合う部分があると思うので、そういった部分を企画全体の中で反映させて、港区の地域の活動を活性化させていくサポートができたらと考えております。</p>
A委員	<p>ありがとうございます。 他に質問はよろしいですか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>～A事業者退室～</p>
A委員	<p>事業者からのプレゼンテーション、ヒアリングは全て終了しました。 ここから採点の時間とします。 採点が完了した委員は、事務局に採点表をお渡しください。集計が終了するまで休憩とします。</p> <p>(事務局 二次審査表回収・休憩)</p>
<p><b>4 二次審査結果及び事業候補者の選定について</b></p>	
事務局	<p>(事務局が資料3に基づき、説明する)</p>
A委員	<p>得点率については何%になるんですか。</p>
事務局	<p>約75%です。</p>
A委員	<p>審査にあたり、評価したポイントなど、順番に講評をお願いします。</p>
C委員	<p>プレゼンテーションでは、現在業務を請け負っていることもあり、根拠や趣旨も理解しており、実現性の点でも問題ないと感じました。他の委員の質問に対す</p>

	<p>る回答を聞いていても、よく考えていると感じましたし、概ね高評価としております。</p>
E委員	<p>各事業のイメージをしっかり持って説明及び事業立案していると感じました。ただ、もともと考えている事業に急遽1つ追加したという印象の事業も見受けられたので、少し気になりました。説明や受け答えは誠実だったのでよかったですと思いました。</p>
D委員	<p>実現性は高いし、区が求めている業務指針は達成できていると評価しています。悪く言うと、無難という印象はあって、支所との連携という部分でうまくリードしていければいいのではないかと思います。</p>
B委員	<p>これまで契約してきた事業者ということもあり、区の特性や求めているもの、ターゲットはよく把握されていて、理解度は高いと感じました。一方、専任制に関しては不安が見られると感じました。所管課として進捗管理をしっかりと、パートナーとして運営していく必要があると感じました。</p>
A委員	<p>みなさんがおっしゃっていたとおりだと思います。全体的に堅実な提案なので、実現性が高い点は評価できると思います。一方で発展性や目新しい部分は欠けているというところはありませんでしたが、所管課が連携していく中では、しっかりと業務を履行してくれるのではと思っています。プレゼンテーションについては、高く評価しました。聞かれたことにしっかりと正面から答えており、必ずしも答えが完璧ではない部分はありませんでしたが、信頼ができる人物なのではないかと感じました。概ね高評価としました。</p>
A委員	<p>3以上の差がある評価についてはありませんが、他にご意見等ありますでしょうか。</p>
D委員	<p>去年の防災学校の応募者は多いのでしょうか。</p>
事務局	<p>多いです。防災士有資格者向け研修会についてはすぐに満員になります。</p>
A委員	<p>すぐに定員がいっぱいになるのはなかなかないですよ。</p>
D委員	<p>支所の防災関連の事業は人を集めるのに苦労しているので、集客の部分でも連携できればいいと思います。</p>
A委員	<p>たくさん集まった講座で支所の事業を紹介すればいいのではないのでしょうか。所管課同士の連携という面で、周知に関しては協力していったほうがいいですね。</p>
A委員	<p>先ほどの講評も踏まえ、自身の採点を振り返る時間を設けます。修正する点があれば、修正をお願いします。事務局が回収します。</p>

A委員	<p>～事務局再集計～</p> <p>再集計はありません。先ほど事務局から説明があった点数で確定ということですのでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
A委員	<p>1, 156点ということで、最低ラインである満点の6割、900点を超えています。審査結果と各委員からのご意見を統括して、A事業者を事業候補者として選定することとしますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
A委員	<p>ご異議ございませんので、A事業者を事業候補者として選定いたします。</p>
事務局	<p><b>5 その他</b> (事務局が、資料4に基づき説明する。)</p>
A委員	<p>資料4 第2回選考委員会の議事録については、このとおりでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
A委員	<p>第2回選考委員会の議事録については、このとおりとします。</p>
事務局	<p>(事務局から、第3回選考委員会議事録についての説明)</p>
A委員	<p><b>6 閉会</b></p> <p>本日の委員会は以上をもって閉会します。</p>